



9/20「地区センターのあり方の提案」手交式

来年4月に開設予定の里塚・美しが丘地区センター（平成19年10月に名称決定）を使いやすいものにするための提案が、「地区センター運営を考える会」から中野区長へ手渡されました。

同会は、地域住民から公募したメンバーが中心となって、同センターを使いやすくするための運営の仕組みを考える組織。提案は、ボランティアのあり方や、利用者へのマナーの周知の方法などについて検討した成果をまとめたもので、同センターの運営に生かされます。

9/27 清田消防団機動重機隊発足式

万が一のときの迅速な人命救助を目的に、道内初となる機動重機隊が清田消防団に発足し、発足式が行われました。

人が倒壊家屋や事故車両に閉じ込められたとき、消防署の要請で直ちに機動性ある重機を出動させ、救助隊と連携して人命救助を行う心強い味方です。



清田区10周年記念事業

10/8 白旗山フェスティバル

白旗山の魅力を市民に肌で感じ、愛着を持ってもらおうと記念植樹とスポーツフェスティバルを合わせた「白旗山フェスティバル」が白旗山競技場で開催され、約3千人の来場者でにぎわいました。

記念植樹では、約200人の区民が森の成長を祈りながらエゾヤマザクラなどのカミネッコ300本とミズナラなどの苗木120本を植えました。

スポーツフェスティバルでは、「ノルディックウォーキング」、クロスカントリーの夏場の練習で使用する「ローラースキー体験」などのコーナーが設けられたほか、区内のサッカー少年団によるミニサッカー大会が開催され、子どもたちは元気いっぱい芝生の上を走り回りました。



10/14 清田区まるごと博物館ウォークラリー

区内の「ふるさと遺産」を楽しみながら巡るイベントに96人が参加して清田区の魅力を再発見しました。

清田区10周年事業実行委員会では、区内の歴史的な建物や貴重な緑地などを未来に引き継ぐ「ふるさと遺産」として選定し、区のまちづくりに活用する企画。今回のイベントはふるさと遺産を巡り、参加者から意見を聞くもの。

レンガ倉庫（清田1条2丁目）では、稲作が栄えたこの地域でリンゴの生産が盛んだった時代もあったことに驚く参加者も多く、住み慣れた区内の遺産を楽しんでいました。



広告